

赤川砂防だより



国土交通省

みんなで防ごう土砂災害

発行：新庄河川事務所
赤川砂防出張所

第97号：平成29年10月

庄内地区

第2回安全パトロール



平成29年10月5日に、「庄内地区第2回安全パトロール」を行いました。

このパトロールは年に2回、赤川砂防出張所と立谷沢川砂防出張所管内における工事の安全施工と労働災害の未然防止を目的として、官民合同で実施しています。

当日は、発注者10名、受注者30名の合計40名が参加し、赤川砂防出張所管内2箇所の工事現場の点検を行い、現場の状況や安全管理体制の確認をしました。

点検箇所① 池の頭砂防堰堤工事

★良い点



女性専用トイレがある。 風速計、雨量計がある。

★改善すべき点



【改善前】事務所出入り口看板が設置されていない。
【改善後】看板を設置した。

点検箇所② 東大鳥砂防堰堤工事

★良い点



重機にバックモニターがある。 低毒素油処理剤が常備されている。

★改善すべき点



【改善前】継ぎ手が不安定に段積みされている。
【改善後】資材を整理した。

検討会

現場パトロールの後は、検討会が行われました。

担当外の工事だからこそ気づいた良い点や改善すべき点などの意見を出し合い、参加者全員で討議を行うことで、よりいっそう、安全管理の整った現場とするための参考になりました。

その他にも、工事事務の概要や発生原因、再発防止のポイントについて、新庄河川事務所の砂防副所長からの講話を聞き、知識を深めることもできました。

今回の安全パトロールを現場管理に反映させ、今後も事故防止に努めながら、工事を進めてまいります。





あさひ小学校防災教育

平成29年9月5日(火)、鶴岡市立あさひ小学校で全児童約180名を対象に、土砂災害防災教育を行いました。

土石流、がけ崩れ、地すべりの3つの模型実験装置を使用し、土砂災害の特徴や危険性などについて説明すると、児童たちは驚きの声をあげ、身を乗り出して熱心に聞いていました。

また、土砂災害から身を守るための行動を学ぶ実習では、それぞれ自分なりに考えて積極的に発言する様子が見られ、土砂災害や防災について関心をもって学んでもらえたようです。

砂防ダムは何でできているの？

コンクリートでできているんだよ

がけ崩れでうちがなくなっちゃった！



山形大学の八木教授と村山教授と実習する中・高学年の児童たち。児童たちは元気に手をあげて自分の意見を出していました。



おめでとうございます！

「桜と水の調べ」
工藤省三郎さん
(鶴岡市)



新庄河川事務所では、砂防事業についての理解を深めていただくとともに、砂防堰堤が織りなす素晴らしい景観などを再認識していただくことを目的に、砂防堰堤の映る美しい景色や自慢したいベストショットを募集しました。その結果多くの応募があり、赤川砂防出張所管内からは「戸沢川砂防堰堤＋流路工」を撮った工藤さんの写真が、審査員特別賞に選ばれました！

砂防講座

3 土石流

長雨や集中豪雨などで山の斜面が崩れ、大量の土砂が水と混じり合い、谷底の石や岩と一緒に一気に下流へ流れ出すものが「土石流」です。土石流の早さは規模によって異なりますが、時速20～40kmという速度で一瞬にして家や田畑、道路などに大きな被害をもたらします。

土石流の前兆



■「山鳴り」といって、山全体がうなるような音がするとき

■川の流が急ににごったり、木と一緒に流れてきたとき

■雨が降り続けているのに、川の水が減っているとき

審査員特別賞

第3回 心に残る砂防堰堤写真

国土交通省 東北地方整備局 新庄河川事務所 赤川砂防出張所
〒 997-0404 山形県鶴岡市下名川字落合 2 2 7
TEL : 0235 (53) 2841 FAX : 0235 (53) 2807
HPアドレス <http://www.thr.mlit.go.jp/shinjyou/>



くわしくはこちらのQRコードをどうぞ！

